

Gコース (ポスト巡検)

「天ヶ瀬ダム周辺の地質構造と文化 亀石・宇治石(茶臼)からダム堤の亀裂まで」

日 程： 8月24日(月)日帰り

集 合： 12:30 京阪宇治線「宇治駅」改札口

* JR 奈良線「宇治駅」から約500mです。京阪, JR いずれのルートも使えます。

解 散： 16:30 京阪宇治線「宇治駅」

定 員： 10名

最小催行人数： 5名

費 用： 500円

案 内 者： 貴治康夫, 紺谷吉弘, 田辺利幸, 田中功一, 三上禎次, 田中里志, 武蔵野 實(以上, 京都支部), 丹波地帯研究グループ

見学コース： 12:30 京阪宇治線宇治駅南出口付近集合 12:35 宇治橋 12:55 三休庵
1:20 世界遺産宇治上神社 1:40 「亀石」・興聖寺「琴坂」 2:10 宇治川河床のブ
ロークン・フォーメーション 2:35 天ヶ瀬の duplex 群と「天ヶ瀬砂岩層」 3:05 天ヶ
瀬ダムの亀裂 3:40 「宇治石」の安山岩質岩脈露頭 4:30 京阪宇治駅

概 要： 宇治は平等院や宇治上神社など世界遺産のある観光地ですが、ジュラ紀付加体と文化施設の
関わりに関して地質的にも見どころの多いところです。巡検では市内を流れる宇治川を上流
に沿って、世界遺産と抹茶を育んだ茶臼を見学し、天ヶ瀬ダム付近まで徒歩で地質を見学しま
す。

地質学的見学ポイントは三つあります。まずは、「プレートの付加過程を、陸上で見られる
デュープレックス構造」。次に、ダムに水没して消滅したとされる「高級茶臼とされる宇治石
の安山岩質原石の見られる露頭」。最後に、断層が発達するブロークン・フォーメーションの基
盤岩に建設された、「ダム施設の再開発におけるダム堤の現状」の三点です。このように今回
の巡検のテーマから共通するキーワードは「断裂」で、応用地質学的見地から「付加体の規則
的破断相をどのように評価するか」は特に興味深いといえます。



写真1: 宇治橋から朝日山を望む。朝日山付近にはペルム紀赤色層状チャート(丹波型地層群)がみられる。



写真2: 天ヶ瀬ダムとダムによってつくられた鳳凰湖。茶臼の原石を切り出した岩脈は湖底に沈む